

○「シートパイプシステムの開発」

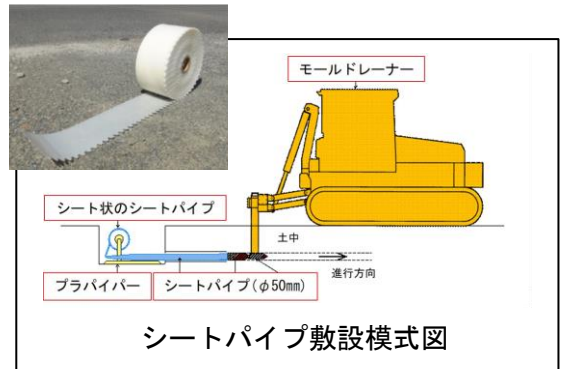
協和建設工業株式会社

排水不良農地の排水機能を改善するため、地中に専用排水管（シートパイプ）を現場で成形し、地面を開削せずに専用重機（モールドレーナー）で地中に引き込むことを可能とするシートパイプシステムを開発した。

この工法は、従来の暗渠排水工法に比べ、その品質、機能性、施工性、経済性に大変優れており、米、麦、大豆、野菜及び飼料など多様な作物の生産が可能となる。

シートパイプ

耐酸性、耐候性、耐衝撃性に優れる。



○「生産現場の最適化等に資するIoTシステムの開発」

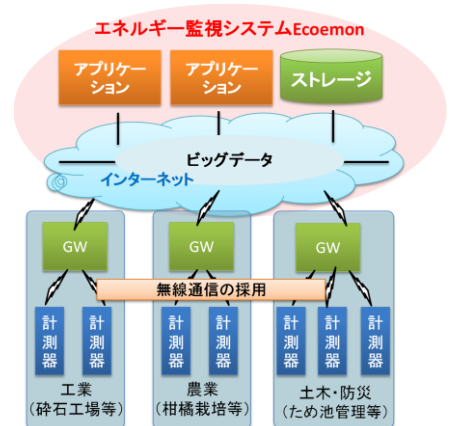
エコマス株式会社

国際標準の通信規格 IEEE1888※の採用によりインターネットを有効活用し、①接続する機器を選ばず、②配線不要で容易に機器を設置でき、③更にはユーザーニーズに合わせたカスタマイズが自由でかつ拡張性の高い経済的なIoTシステム（Ecoemon (ECOMas Energy MONitoring system)）を開発した。

県内の工業、農業、土木・防災などあらゆる場面へ導入されており、IoTにおける中核的な機能を提供し、可能性を広げるシステムである。

※ IEEE1888：エネルギー管理に視点を広げて開発された国際標準の通信規格

IoTシステム（Ecoemon）のイメージ



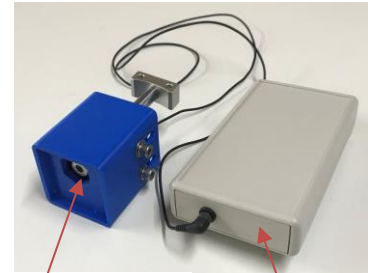
○「インフラ劣化診断モバイル型打音装置の開発」

有限会社エヌ・ケイ・システム

コンクリート構造物に付帯する設備（トンネル換気扇等）を固定するボルトの劣化判断（接合力の低下など）において、ハンマー打撃およびその打撃音収集を自動化し、計測データを検査員が携帯する機器のBluetooth通信により、瞬時にパソコンに取り込み解析するシステムを開発した。

本装置により、熟練技術者の技能（官能検査）に頼らず、誰でも簡単に、かつ均質なスクリーニング検査が可能となる。

インフラ劣化診断モバイル型打音装置



ハンマー+マイク治具

無線通信機能付き打音検査装置

○「災害時に役立つ特許商品の開発」

(有)ちふりや工業

大規模災害が多発する今日、災害時に役立つ商品をコンセプトに、軽トラックに積載走行が可能な移動式仮設トイレや、土砂崩壊等災害現場の泥状の土砂を使って製作可能な災害用大型土のう袋等、独自の特許技術による商品開発を積極的に推進してきた。

さらに、既存の特許商品に関しても、改良に係る意匠登録や立体商標等積極的な知的財産化を進め、持続的な事業展開を図っている。

キューブレット®

車載用仮設移動トイレ



サンドレンバッグ® 災害用大型土のう

